

普及活動情勢報告（令和6年1月分）

中央西農業振興センター高知農業改良普及所

水稻産地の振興に向けて ～介良沖ノ丸勉強会～



勉強会の様子

1月9日、介良白水公民館にて介良沖ノ丸勉強会が開催され、生産者10名が参加しました。

普及所からは酒造適性品種‘とよめき’の栽培方法や、発酵鶏糞を施用し化学肥料を30%低減した実証試験結果について報告しました。

参加者からは「‘フクヒカリ’に代わる‘とよめき’の特徴や注意点は？」、「よさ恋美人は美味しいからもっとPRして欲しい」といった声がありました。

農業改良普及所は今後も関係機関と連携し、水稻産地の振興に向けて支援をしていきます。

ドローンで効果的に防除するには ～マル朝生姜生産組合 支部合同研修会～



研修会の様子

1月10日、高知市中山間構造改善センターでJA高知市のマル朝生姜生産組合が研修会を開催し、露地ショウガ生産者37名が出席しました。

普及所からは、ドローン防除の試験結果について、防除効果や作業時間等を紹介しました。

生産者からは、降雨後の防除のタイミングや、ドローン導入に関する補助事業の要件等の質問があり、関心が示されました。

農業改良普及所は今後も関係機関と連携し、ドローンをはじめ、スマート農業技術の普及に向け、支援していきます。

新規就農者の現状把握と今後について ～第2回就農状況報告会～



就農状況報告会の様子

1月11～24日にかけて、就農5年目までの農業次世代人材投資事業活用者11戸の就農状況報告会を開催しました。高知市、JA、普及所からなるサポートチームが令和5年7～12月までの出荷量の実績等を元に、栽培・経営面の進捗状況や課題等を聞き取り、助言を行いました。

参加者からは「新たに炭酸ガスを施用し、樹勢の変化を感じている」、「空調設備を入れ、夏期の品質を向上させたい」等、積極的な意見がありました。

農業改良普及所は今後も関係機関と連携し、新規就農者の安定した農業経営に向けた支援を行っていきます。